

2015年度事業計画 ＜重点方針と施策＞

2015年5月30日

総会資料

特定非営利活動法人 人間中心設計推進機構

＜HCD-Netのミッション＞

人間中心設計に関する学際的な知識や経験を集め、人間尊重の英知を産学を越え束ね、人間中心設計導入に関する様々な知識や方法を適切に提供する

- 多くの人々が便利に快適に暮らせる社会作りへの貢献
- 経済の発展への寄与
- 豊かでストレスのない実りある社会の実現

＜中期目標（2014～2016年）＞

HCD-Netのミッションを実現するために、（2020年東京オリンピック開催を意識し）

- ビジネス支援事業を重点（投資）活動として立ち上げ、事業の柱とする
- 積極的な発信により、外部からのブランドイメージ（存在意義）を確立する
- 関係者、関連団体、業界との連携を強化し、活動領域を拡大する
- 独自研究により専門性を高めるとともに、学術団体として認知される
- 認定専門家のスキル向上とともに、ビジネス支援領域で活躍できる場を確保する

HCD-Net2015年度事業方針

HCD-Net発足以来これまでの10年間に蓄積されてきた知識、ノウハウ、構築されてきたネットワーク、人的リソースを活用し、

HCD-Netに関連する職種（経営トップを含む）、業種、団体、官公庁にHCD/UXDの価値や意義を理解してもらうとともに、HCD/UXDの思考方法・手技法などを導入・実践するための積極的な普及啓蒙活動やビジネス（事業）における連携に注力する

結果、

- ・ HCD/UXDに対する強い関心をもってもらう
- ・ HCD-Netに対するブランドイメージを高める
- ・ HCD/UXDを実践する仲間を増やす

HCD-Net2015年度重点施策 (1)

<社会化広報事業領域>

- ・積極的な発信により、外部からのブランドイメージ（存在意義）を確立する
- ・関係者、関連団体、業界との連携を強化し、活動領域を拡大する

<教育事業領域>

- ・体系的に学ぶシリーズセミナーの幅を広げる
- ・継続的なセミナーの実施

<ビジネス支援事業領域>

- ・ビジネス支援事業部の発足と支援プロジェクトの探索・試行

HCD-Net2015年度重点施策（2）

<研究事業領域>

ミッションに基づき独自研究により専門性を高めるとともに、学術団体として認知されることを中心的目標として、SIG活動の充実とSIG活動の成果の発信を積極的に行うとともに、研究発表会、および機構誌の論文誌並びに機関誌としての充実を図る。

<SIG活動>

1) 利用品質メトリクスSIG

活動の成果を関連省庁（経済産業省、総務省、厚生労働省など）に向けて報告
「現状産業界における利用品質メトリクスの実践レベルについて」

2) SF映画SIG

SIG活動の総仕上げ（締めくり）

3) 感性SIG

定例研究会の実施

HCD-Net2015年度重点施策（3）

＜専門資格認定領域＞

- ・認定専門家（第7期）、認定スペシャリスト(第3期)の試験制度の維持運営
- ・検定試験(3級相当)制度の確実な立ち上げ
- ・専門家・スペシャリストの交流の場の提供

＜HCDアワード表彰＞

- ・ベストプラクティスを共有を通じて学び合うためのシステム作り

＜事務局＞

- ・財務分析による重点投資方針の提言
- ・業務システム、マニュアル、手順書の整備・活用による、手戻りの未然防止